



## 快適さを求める 臭気ビジネス

大崎 善規



臭気判定士によるサンプリングの様子

### 1. 嗅覚とノーベル賞

嗅覚は、視覚・聴覚・味覚・触覚と合わせた五感の一つで、近年、環境衛生工学の分野における研究が盛んに進められています。2004年のノーベル医学生理学賞を受賞したL.バックとR.アクセルの両博士が取り組んだのは、この嗅覚の仕組みについての研究で、彼らは、臭気と関わる遺伝子を発見しています<sup>1)</sup>。嗅覚とは、空気中のにおい物質が鼻孔より吸入され、鼻腔にある粘液に吸着され、嗅細胞で電気的に変換された信号が、大脳において感じる感覚である、と生理学的に表現することができます。

においは、不快と感じる“臭い”（悪臭）と快いと感じる“かおり”に分けることができ、好き嫌いや快不快など心理的な要因に大きく影響しています。社団法人におい・かおり環境協会では、臭気に関する環境行政を担う臭気判定士の認定や臭気の測定・評価方法や防・脱臭対策の研究・開発に積極的に取り組まれています。

### 2. 悪臭と環境行政

今日では、悪臭を防止することはもちろん、より良好で快適なかおり環境が求められています。環境省では、毎年、全国の都道府県などの報告に基づいて、悪臭苦情の状況および悪臭防止法の施工状況をまとめており、最新の報告では、苦情件数は年間で約2万件あり、このうち、工場やサービス業における苦情の増加が顕著で全体の約30%を占めています<sup>2)</sup>。この苦情は、畜産農業や製造工場などの産業型と、飲食店・サービス産業などの都市・生活型に分類され、法に基づく規制地域内では、立入検査や報告の徴収、臭気測定が実施され、行政指導が行われます。さらに、測定の結果、基準を超えている場合には、改善勧告や命令が実施されることもあります<sup>3)</sup>。悪臭の測定は、平成12年から制度化された公認の臭気判定士が、嗅覚測定法を用いて臭気指数を算出しています。

### 3. “臭い”を中和する脱臭剤

エアークムは、125種類の植物性精油を主原料としており、

不燃性で、毒性、刺激性もなく生分解性に優れた脱臭剤です。エアークムの植物性精油は、“臭い”に接触すると、臭気中和による相殺作用で、“臭い”の感覚レベル(臭気指数)を低減させます。この臭気中和は、芳香剤の強い“かおり”で紛らわすマスキングとは異なり、人間の嗅覚にやさしい脱臭効果を発揮します(図1)。畜産農業や製造工場などの産業用分野では、噴霧、散布、添加などの方法で使用され、悪臭発生源にピンポイントで即効対応します。

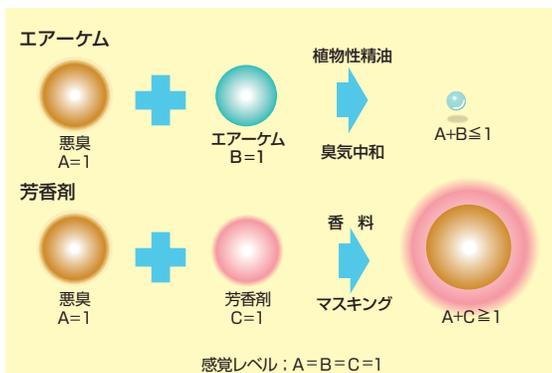


図1 臭気中和とマスキングの脱臭イメージ

排水処理施設専用に開発したアメリクリーンは、排水ピット、脱水スラッジなど、腐敗臭の原因である硫化水素、メチルメルカプタンを化学中和により除去します。これにより悪臭の低減を行なうことができ、さらに電気機器の腐食防止や活性炭、洗浄塔の交換品の劣化低減も期待できます。

病院・店舗などの業務用分野では、屋内使用に特化したエアークムスーパーをご用意し、あらゆる“臭い”をさわやかにして、お部屋に森林の空気をお届けしています。

“臭い”対策は、現場経験が豊富な、全国で活躍する第一クリーンケミカル(<http://www.dcc-web.co.jp>)の臭気判定士へお気軽にご相談ください。

#### 参考資料

- 1) L.Buck and R.Axel, The Nobel Prize in Physiology or Medicine2004, The Nobel Foundation.
- 2) 環境省・悪臭防止法施行状況調査(2005)
- 3) 生活環境情報サイト <http://www-gis.nies.go.jp/life>